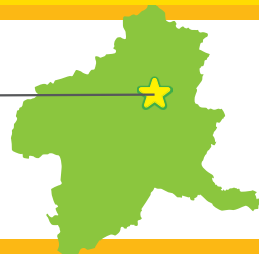


就労支援と生活支援のサポートをする

沼田市



公益社団法人 沼田市シルバー人材センター



自分の家のように、丁寧に家事をこなすホームヘルパー

●活動内容

仕事をリタイアした後も「まだまだ働きたい」、「社会の役に立ちたい」と考えている人が多い。シルバー人材センターでは、家庭や企業、公共団体などから仕事の依頼を受けて、就業を希望する会員に提供している。その実績によって、配分金として報酬を支払う仕組みとなっている。

また、介護保険事業としての訪問介護は、県内にあるシルバー人材センターの中で、沼田市のみが行っている。ホームヘルパーを派遣し、利用者の自立を支援することが目的だ。

●事業を始めたきっかけ

平均寿命が延びている現在、高齢者は家にこもるのではなく、何らかの形で社会と接点を持ちたいと思っている。こうした高齢者が働くことにより、地域社会と関わりながら生きがいを持ち、健康で暮らせるようにすることを目的として、全国的に市町村単位でシルバー人材センターが運営されている。今では多くのシニアが、駐車場管理や剪定作業、農作業、文字筆耕など、さまざまな仕事を請け負う。

一方、一人暮らしの高齢者が会話をする機会や、日常生活上の補助が無いなどの問題が挙がっていた。そこで、沼田市シルバー人材センターでは、介護保険事業と

して、利用者と世代的に近いホームヘルパーが掃除や洗濯、食事介助などを行う訪問介護を始めた。

「孤独感を感じる事がなくなった」と話す利用者が増え、高齢者が住み慣れた自分の家で、気持ちよく生活を続ける一助となっている。



〈やりがい・楽しみ〉

仕事を請負う増田朝子さん(75)は、「まだ自分は働ける。こうして仕事を紹介され、社会と通じていると感じられるのはうれしい」と語る。

介護保険事業でホームヘルパーをしている吉野けい子さん(67)は、「利用者と時間を共有することは、その方の生活の一部を共有することなので“いつも明るく”を心掛けています。『最期まで家で過ごしたい。あなたも身体を大切にね』と励まされることも。訪問すると、皆さんパッと明るい笑顔になります。それが一番やりがいを感じる瞬間です」と、話してくれた。

基礎データ

☎0278-24-2942

公益財団法人 沼田市シルバー人材センター

事業開始時期／平成元年(平成16年 介護保険事業)

主な活動／高齢者の就業支援

ホームヘルパーによる介護保険事業

人数・年齢／会員数500名 60代が中心